

# 水曜通信 7

東北学院大学研究ブランディング事業通信  
「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

2017年  
11月

## 第7回水曜礼拝（公開大学礼拝） 2017年11月15日（水）18:30-19:00



説教：松本 宣郎（本学学長）

奏楽：小野 なおみ（本学礼拝オルガニスト）

<礼拝次第>

前 奏：J.L.クレープス「我らみなひとりの神を信ず」

讃美歌：38番「わがたまのひかり」

聖 書：創世記18章20-32節

マタイによる福音書18章10-14節

讃美歌：294番「みめぐみゆたけき」

説 教：「10人しかいなくとも」

祈 禱

頌 栄：540番「みめぐみあふるる」

後 奏：F.メンデルスゾーン「交響曲第2番」より  
第1楽章 マエストーソ・コン・モート

後奏の後、19：10から礼拝堂において、中川郁太郎（本学特任准教授）の独唱による讃美があります。

次回第8回水曜礼拝は**12月20日**です。

## 第7回水曜礼拝報告（説教：吉田 新、奏楽：小野 なおみ）

2017年10月18日(水) 18:30-19:00

前 奏：J.S.バッハ「主なる神、我らの側にいまさずして」 BWV 1128

讃美歌：270番「しんこうこそ たびじをみちびくつえ」

聖 書：ルカによる福音書11章33-36節

讃美歌：291番「しゆにまかせよ ながみを」

説 教：「まことを見る目」

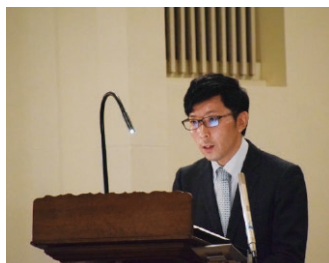
頌 栄：541番「ちちみこみたまの」

後 奏：J.S.バッハ「いと高きところの神にのみ栄光あれ」 BWV 715

### 【説教要旨】

「目が澄んでいれば、あなたの全身が明るいが、濁っていれば、体も暗い」とイエスは言う。澄みきった目というのは、余計なことを考えないで、ただ純真に見えているということの意味する。つまり、真実を見る目、まことを見る目、というのは、先入観を持たずに見ることによって得られる。まことを見る目で自身の人生を眺めたときに、自分の歩むべき道がはっきりと目前に現れるだろう。その時に、私たちのなかにあるとし火は輝き、全身も輝く。しかし、私たちはしばしば、偏見や先入観を持って人や周りの状況、そして自分とその行く先を見てしまう。澄んだ目を持っていないわたしたち。体も暗く、自分の中の光が闇に変わってしまっているわたしたち。だからこそ、イエスは澄んだ目で見ることの大切さを教えているのだ。（吉田新）

グリーンクラブ総勢20人のほかに、礼拝に47名、その後の19時30分までの合唱による讃美に45名の市民が参加されました。



### — ジョン・ラファージとは誰か —

来年2月24日にジョン・ラファージについての世界で初めて！のシンポジウムを開催します。しかしラファージとは誰でしょうか？

ラファージ（1835-1910）は、アメリカのステンドグラスの復興者。またアメリカのジャポニズムを代表する画家です。1886年に来日して日光に滞在し、神秘の森に大感激。岡倉天心（1863-1913）とはそのときに出会い、天心は後に自著『茶の本（Book of Tea）』をまさにラファージに捧げています。わが学院のステンドグラスから出発して、ラファージを通じて、いろいろなことが研究できるのです。

（鐸木道剛）

1987～88年のアメリカでの展覧会カタログ表紙→



## 礼拝後、グリークラブおよびグリークラブOB会の合唱による讚美



- \* 東北学院校歌
- \* Swing Low, Sweet Chariot  
1870年代にFisk Jubilee Singersによって広まる。
- \* Were You There  
1899年出版Old Plantation Hymnsに採譜。
- \* Steal Away  
1862年以前、チョクトー族インディアン  
のWallace Wills作曲。
- \* Deep River  
1876年にFisk Jubilee Singersの歌集に初出。
- \* 讚美歌405番「かみともにいまして」

## 文学部総合人文学科主催 ファカルティ・フォーラム 「マルコによる福音—十字架のキリストに従う者への福音書—」報告

日時：2017年10月6日(金) 14:40 -16:10

場所：土樋キャンパス ホーイ記念館3階 H302教室

講師：ペーター・ランペ (Peter Lampe ハイデルベルク大学神学部教授)

総合人文学科の出村みや子学科長の挨拶の後、講師であるハイデルベルク大学神学部のペーター・ランペ教授が紹介されました。ランペ教授はドイツを代表する新約聖書学者の一人であり、パウロ研究を中心に多くの論文、研究書を発表されています。ランペ教授はマルコ福音書の福音概念の根底にパウロの神学があることを詳細に示されました。

(吉田新)

## 東北学院大学研究ブランディング事業シンポジウム 「我は福音を恥とせず—新約聖書における〈福音〉理解—」報告

日時：2017年10月7日(土) 13:00 -16:40

場所：土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

講師：ペーター・ランペ (ハイデルベルク大学神学部教授) 「パウロにおける福音概念」

辻 学 (広島大学大学院教授) 「福音の継承?—第二パウロ書簡における〈福音〉理解」

吉田新 (東北学院大学准教授) 「死者への福音?—第一ペトロ書における〈福音〉理解」

パウロはロマ書1章16節で「我は福音を恥とせず」と記しています。東北学院第二代会長であるD. B. シュネーダーも、1936年(昭和11年)に迎えた創立50周年記念の際、「我は福音を恥とせず」と題する説教を行っています。福音とは何かという問いは、本学の建学の精神のみならず、キリスト教の根幹について考える問いでもあります。本シンポジウムでは、新約聖書、とりわけパウロ書簡における福音理解を明らかにし、その後、第二パウロ書簡、そして共同書簡に福音がどのように継承されたのか、または、継承されなかったのを検討しました。

(吉田新)



## — ステンドグラス修復の進捗状況 —

トレスが終了し、1枚1枚パネルのたわみ具合を撮影確認してから古い鉛棧からガラスを解放する作業に入ります。使用されている鉛の棧は現在使われている鉛より固く、表面の鉛の帯をニッパではぎ取りながらカットし、注意深くガラスを取り出ししていきます。ガラスと鉛棧の間には固着したパテ（石灰を亜麻仁油で練ったものが充填されており、雨、風、振動から守っている）がしっかりと入り込んでおり、それを削り取りながら各ピースをトレスの上に並べていきます。目視ではわからなかったガラスの割れが多く見つかってきます。特にたわみの激しい部分はガラス自体が緊張しているため注意を要します。また、この作業の中でガラスのカット技術、組立ての腕前など、当時の職人達との「対話」が感じられる貴重な喜びの時でもあります。



(光ステンド工房代表 平山健雄)

## ブランディング事業協賛の講演会のお知らせ

### 東北文化研究所公開学術講演会

「古墳時代の女と男—古墳被葬者にみるジェンダー—」

2017年11月18日(土) 13:30-15:00 土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

講師：清家章（岡山大学教授）

### ヨーロッパ文化総合研究所公開講演会

「中近東の東地中海世界における諸民族の混交」

2017年12月9日(土) 13:30-17:00 土樋キャンパス6号館2階621教室

講師：西村道也（福岡大学講師）「ビザンツ貨をめぐる模倣と模造」

高田良太（駒澤大学講師）「コンスタンティノープルのヴェネツィア人」

堀井優（同志社大学教授）「近世オスマン帝国下のヴェネツィア領事網」

澤井一彰（関西大学教授）「オスマン帝国支配下のイスタンブル史の立場から」



いずれも申込不要、参加無料です

文部科学省私立大学研究ブランディング事業とは：

学長のリーダーシップの下、大学の特徴ある研究を基盤として、全学的な独自色を大きく打ち出す取り組みを行う私立大学に対し、施設費・装置費・設備費と経常費を一体的に支援するもので、各大学の特色化・機能強化の促進を目的としています。東北学院大学は、「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」との事業名で平成28年11月22日に採択されました。

東北学院大学研究ブランディング事業通信  
第7号

2017年11月8日発行

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

TEL：022-264-6405（研究機関事務課）

E-mail：branding@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

URL：http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/theology/